
フォーミュラ・ニッポン第6戦 RACE Report 2009/08/08 ツインリンクもてぎ
土曜日フリー走行

●ロイックがトップタイムで好調キープ、小暮も2番手で1-2発進。

フォーミュラ・ニッポンも第6戦目となりいよいよシリーズも後半戦に突入。10:20～11:20でフリー走行が行われた。前回の5月以来もてぎでの2回目の開催、チャンピオンシップを占う重要な1戦となる。天候は曇り時々雨、夏本番ながら台風の影響もあり、湿度が高く、蒸し暑さを感じる。気温と路面温度は 27,1℃/34,9℃。雨がコースの一部で降っておりウェット宣言が出されたがウェットタイヤに変えるほど、路面はぬれず、ドライコンデションで行われた。ロイック、小暮とも中古タイヤでコースイン、午後の予選セッションに向け精力的に周回を重ねた。最後にニュータイヤでアタックをし、ロイックが1'34"439のトップタイムたたき出し、小暮も1'35"347のタイムで2番手と続いた。前回ラウンドに続き2台とも好調をキープ、NAKAJIMA RACING 1-2でセッションが終了した。

●チームディレクター:藤井一三

「タイム的には、ばらつきがありますが、2台とも順調なスタートをきれたと思います。路面状況がこれから変わってくると思いますが、予選に向けこのポジションをキープしたいですね。」

●31号車ドライバー:ロイック・デュバル タイム:1'34"439 (1番手)

「マシンはとてもしっかりした状態です。トップタイムもだせてハッピーです。予選に向けてもう少しだけマシンのバランスを煮詰めたいです。」

●32号車ドライバー:小暮卓史 タイム:1'35"347 (2番手)

「車は悪くないです。ニュータイヤでのアタック中に他の車に引っかかってしまいました。次の予選に向け車を仕上げて頑張ります。」